

## 「保健体育科」学習指導案

五日市高等学校  
(教諭 高木 優子)

### 本学習指導案のポイント (豊かな心と身体育成課指導主事 吉田 祥司)

この指導案のポイントは、男女共習の授業を実施するにあたり、男女とも楽しく授業を行うための授業作りの工夫として、生徒自身が技能差や体力差のある集団において「誰もが楽しくゲームに参加する」ためのオリジナルルールを考えたり、そのルールをもとに互いに調整したりすることを通して、生徒が身に付けた知識や技能を活用し思考・判断・表現する機会を設けている点にある。

実際の授業においては、「全員がバレーボールを楽しむためにはどのようにすれば良いのか」という問いに対して、グループ活動を通して見つかったチームや個人の課題を、既習の知識・技能を活用しながら新たなルールの提案や調整の過程で試行錯誤することで思考力・判断力を身に付けていく。また、相手チームとのルール調整の場面では、互いに考えたルールを相手に承認してもらうために伝え方を工夫したり、よりよいゲームになるようさらにルールを改善しようとしたりする姿が見られる等、主体的・対話的で深い学びを引き出そうとしている点で優れた実践となっています。

- 1 日時・場所 令和5年11月24日(金) 第5校時
- 2 学年・学級 1学年1、2、3組バレーボール選択者
- 3 単元名 E球技 (イ ネット型 バレーボール)
- 4 単元について

#### (1) 単元観

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

高等学校では、これまでの学習を踏まえて、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、「作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する」ことなどが求められる。

#### (2) 生徒観

事前アンケートの結果から、生徒はバレーボールの授業に対して意欲的であり、レシーブ、ラリーについて「楽しさ」の要素を感じている生徒が多く、ゲームの中でボールを「繋ぐ」ことを生徒が重視していることが分かった。また、他者との連携から攻撃へ移行する技能を求めており、試合展開に欠かせない要素を生徒はできるようになりたいと考えていることが分かった。

話し合い活動などの意見交換や、合意形成を図る場面では積極的に話をする生徒が多いためゲーム作成の場面では、多くのアイデアが出されることを期待したい。

#### (3) 指導観

バレーボールにおける「楽しい」と感じる要素を考えさせ、試合やグループ活動を通してバレーボールに含まれる「楽しい」要素を明確にさせるとともに、バレーボールの特性を知った上で、全員が楽しめるバレーボールのルールを考案させる。そして、体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を身に付けさせたい。

### 5 指導と評価の計画 (17時間)

単元の目標	知識及び技能	次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 イ ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。																
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。																
	学びに向かう力、人間性等	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。																
評価機会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	知											②		①				
	技										①				②	③		
	思 態			①				④			③			②	④			③
																		総括的な評価

単元の評価規準	知	①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。 ②練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法について学習した具体例を挙げている。	評価方法	・授業ノート ・知識チェック（口頭質問形式） ・意識調査
	技	①攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げることができる。 ②ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。		・行動観察 ・スキルチェック
	思	①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ③チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。		・ゲーム分析シート ・ゲーム作りシート ・授業ノート ・振り返りシート ・行動観察
	態	①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ④健康・安全を確保している。		・行動観察

6 本時の指導案 (16/17時)

(1) 本時の目標

チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとするができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開

展開(時間)	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)
導入 (10分)	挨拶・欠席者確認 各チームでウォーミングアップ 本時の内容説明		
<p>目標：「五高 Enjoy! Volleyball」のルールのを活用し、プレイを繋ごう</p>			
展開 (35分)	<p>チームでミーティングを行い、本時の内容に沿った各チームの目標と個人目標を設定する。</p> <p>ルールや注意事項の確認。 ★ゲームの目的を確認。</p> <p>ゲームの最初と最後は、礼をする。</p> <p>ゲーム前に円陣で、目標を声に出して確認する。チームワークを高める。</p>	<p>◆抽象的（頑張るなど）な目標ではなくチーム全員が理解でき、意識しやすい目標を設定させる。 『ゲーム振り返りシート』に書き込ませる。</p> <p>◆プレイを「繋ぐ」ことを意識させる。</p> <p>◆生徒が、設定したルールを活用するためにはどうすれば良いか問いかける。 「ワンバウンドルールを有効活用するシーンはどこだろう」「スパイクでの得点は2点だが、攻撃を決める確率を高めるには何を意識してプレイするか」</p> <p>◆危険なため、足を使つてのプレイは禁止し、危険な場面では、必ず「危ない！」と声を出して知らせることを確認する。</p>	<p>相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (行動観察)</p> <p>チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【思考・判断・表現】 (振り返りシート)</p>
<p><b>「五高 Enjoy! Volleyball」ゲーム</b></p>		◆目標の達成の確認。 『ゲーム振り返りシート』に書き込ませる。出来たこと、できるようになりたいことを具体的に書くように伝える。	
まとめ (7分)	<p>チームミーティング・本時の反省 →シートに記入</p> <p>・本時の成果確認 ・次回の授業の説明</p> <p>整列・挨拶・片付け</p>	◆楽しむことができたかを%で表現させる。(振り返りシートに書き込む) 次時の始めに改善点としてその理由や%が低かった場合は共有する。	